



大木

大木町立大木中学校

学校だより

令和2年度

第6号(9月)

文責 校長 庄司保浩

体育大会スローガンのもと

今年の体育大会のスローガン

「新心」(しん)

「離れていても427人の心は同じ

創ろう新しいカタチ

創ろう明るい未来」

今年の体育大会は例年とは違った形で行われます。新型コロナウイルス感染症は私たちの生活を大きく変えてしまいました。

「距離をとって」「マスクをして」「半日だけ」。これは例年絶対に有り得ないことです。

近隣の中学校で体育大会が中止されていくなか、大木中学校では開催することができません。友達とも距離をとって生活しなければならなくなった今、この体育大会を機に一人一人の心を新たに大木中学校生徒全員が一致団結して、この体育大会を「良いもの」にして、新しい大木中学校の形をつくっていきましょう。

大木中学校生徒会執行部

全校生徒が4つのブロックに分かれて、最後まで諦めずに全力で走りぬける姿や全力で競技をしている姿に「新しい大木中学校の未来」を感じることができた本場にすばらしい体育大会でした。

開会式から始まった体育大会は、最高の体育大会を創り上げようと、ブロックリーダーを中心に、全校生徒で力を合わせてどの競技も熱戦を繰り広げてくれました。

体育大会当日を迎えるまでも、生徒会実行委員、ブロックリーダー、ソーランリーダーの人は先生に指示されて動くのではなく、主体的な運営でそれぞれの役割を果たし、体育大会へ向かう全員の意識を高め、ブロックの団結に貢献してくれました。

また、スローガンをパネルにしてくれた美術部、最後に演奏してくれた吹奏楽部も体育大会を盛り上げてくれました。

生徒たちは、この体育大会の練習を通して、仲間と協力することや団結することの素晴らしさ、物事と真剣に向き合い、努力することの大切さなど多くのことを心と体で感じてくれたものと思います。今回の体育大会の取組を通して学んだことや気づいたことをこれからの日常生活に生かしてくれるものと期待します。



一生懸命な姿に感動!

美術部制作パネルと
美術部3年生



吹奏楽部による演奏



今年の体育大会は、4月、5月の臨時休校の影響から、当日の競技はもとよりそれまでの練習時間も4日間に短縮して行いました。しかし、そんな短い練習時間のなかでも子ども達は、精一杯の取り組みをしてくれました。

また、体育会当時の爽やかに壮しく競技をしている姿に輝きと美しさを感じることができました。

特に3年生のソーラン節は「新心」の感じられる見ている人に感動を与えてくれるものでした。

勿論、1年生2年生の一生懸命な姿にも感動しました。保護者の方々からもたくさんのお褒めの言葉をいただきました。



2年生 全員リレー



1年生 全員リレー



2年生 ムカデ競走



1年生 ぐるぐる回れ



全男 花宗川下り



3年生 戦う女たち



3年生 全員リレー



ブロック対抗リレー



全女 花宗川下り



3年生 アイスマン

おれ

保護者の皆様、体育大会当日は、温かいご声援ありがとうございました。

今年は新型コロナウイルス感染防止のために、行政区ごとのテント設置禁止や来校前の検温、会場でのマスク着用など不自由をおかけしました。皆様のご協力のおかげで無事終了することができました。感謝申し上げます。

来年の体育大会は、新型コロナウイルス感染症も収束し、地域の方々や卒業生の来場のもと開催できることを強く願っています。